

ふれあいぽけっと

今月の題字
牟礼西小学校 一年

こいけ ももか さん

【発行】 ふれあいぽけっと編集委員会 (事務局:社会福祉法人 飯綱町社会福祉協議会) / 〒389-1201 長野県上水内郡飯綱町大字芋川 181
TEL 026-253-8456 / FAX 026-253-2907 / Eメール: iishakyo@ii-shakyo.or.jp

わはは！わはは！の
わらび会



☆主な記事☆

- ◆わらび会
- ◆社協会費&日赤社費報告
- ◆飯綱町社協施設あんないその④
- ◆ボランティアコーナー
- ◆いいづな町で暮らす
- ◆安心暮らしのワンポイント
- ◆共同募金
- ◆いいづなの事業所紹介
- ◆まちがいさがしクイズ
- ◆新 ささらばさら (4コママンガ)
- ◆りんごのつばやき

8月23日に町民会館教養娯楽室を会場に高齢者の昼食会であるわらび会が開催され、44名の皆さんが参加されました。

今回は、飯綱町交番の所長を講師に迎え、「交番の体制や交通事故、振り込め詐欺について」のお話を聴きました。昼食はボランティアグループのわらび会の皆さんがつくった、夏野菜を使った料理や冷しうどんなどを食べて、夏バテで食欲の落ちた方も、もりもり美味しくいただきました。

その後は、久遠峯志さんのサクソ演奏に合わせて、参加者全員で歌を歌いました。続いて「南京玉すだれポンポコ班」の皆さんによる南京玉すだれを観賞しました。大技を披露する一方、玉すだれが元に戻らない場面もあり、メンバーの「戻らない。戻らない・・・♪」の掛け声の中、参加者から大きな笑い声と歓声上がり、笑顔が溢れたわらび会となりました。次回は、10月24日に開催します。

※この広報紙は、社協の事業内容と飯綱町の地域福祉に関する新鮮な情報をお届けするため、住民と飯綱町社会福祉協議会、町内の福祉を目的とする団体によって編集されています。

社会福祉協議会会費の納入に
ご協力ありがとうございました

平成 24 年度実績
総計 3,571,000 円

***社協会費 主な使いみち**

- ボランティア・市民活動の支援
- 地域福祉情報紙「ふれあいぽけっと」の発行
- 児童 地域自然体験教室「があたく塾」の開催
- ボランティアセンター運営費
- 福祉人材の育成
- 地区福祉学習会の開催



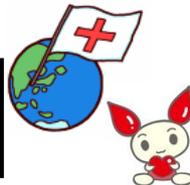
地区名	納入金額	地区名	納入金額
普光寺西部	89,000	田 中	36,000
普光寺中部	83,000	中 村	41,000
普光寺東部	134,000	御所之入	51,000
深 沢	49,000	若 宮	19,000
寺 村	45,000	堀 越	8,000
町	48,000	日 向	3,000
中 峯	39,000	谷	59,000

地区名	納入金額	地区名	納入金額
川 西	115,000	坂 上	100,000
川北西部	32,000	栄 町	101,000
川北東部	48,000	牟 礼	158,000
原 一	31,000	小 玉	84,000
原 二	50,000	西黒川	97,000
原 三	47,000	東黒川	105,000
川 谷	29,000	袖之山	59,000
上赤塩	105,000	地藏久保	15,000
毛 野	93,000	坂 口	13,000
下赤塩	53,000	高 坂	50,000
東柏原	43,000	夏 川	40,000
奈良本	35,000	野村上	81,000
扇 平	26,000	北 川	28,000
平 出	154,000	上 村	20,000
番 匠	33,000	東高原	91,000
福井団地	684,000	横 手	25,000
福 井	54,000	中 宿	41,000
四ツ屋	63,000	古 町	64,000

会費は、誰もが安心して暮らせる地域づくりのための事業の財源として活用させていただきます。

日本赤十字社（日赤）社資の
ご協力ありがとうございました

平成 24 年度実績
総計 1,633,741 円



日本赤十字社が行う「被災地への医療救護班の派遣や救援物資の配布を行う災害救護活動」「災害や紛争で苦しむ人々への国際救援活動」「救急法や幼児安全法等の講習会の開催」などの活動は、皆様より毎年納めていただいている社資を財源としております。

◆詳しくは、ホームページをご覧ください↓
日本赤十字社長野県支部 <http://www.nagano.jrc.or.jp/>

(単位：円)

地区名	金額	地区名	金額
普光寺西部	37,200	田 中	20,500
普光寺中部	43,000	中 村	24,500
普光寺東部	65,000	御所ノ入	31,500
深 沢	24,600	若 宮	9,000
寺 村	22,500	堀 越	4,800
町	28,500	日 向	1,500
中 峰	15,200	谷	31,000

地区名	金額	地区名	金額
川 西	49,684	坂 上	50,000
川北西部	16,000	栄 町	50,500
川北東部	25,000	牟 礼	79,000
原 一	13,100	小 玉	37,200
原 二	25,800	西黒川	47,400
原 三	23,500	東黒川	52,000
川 谷	8,500	袖之山	29,500
上赤塩	24,420	地藏久保	7,500
毛 野	51,500	坂 口	6,500
下赤塩	31,000	高 坂	27,500
東柏原	22,000	夏 川	20,000
奈良本	17,500	野村上	42,257
扇 平	2,200	北 川	14,000
平 出	75,450	上 村	10,000
番 匠	16,500	東高原	11,750
福井団地	283,180	横 手	12,500
福 井	27,000	中 宿	20,500
四ツ屋	15,000	古 町	29,500

社資は、日本赤十字社長野県支部に全額を送金しました。ご協力ありがとうございました。

飯綱町社協 施設あんない その④ “グループホーム わが家”



わが家は・・・

ここで暮らす誰もが心穏やかに、輝ける毎日をゆっくりと積み重ねていける……。住み慣れた飯綱町で、四季を感じながらあるがままに暮らしていくためのお手伝いをさせていただく、入居型施設です。



これっていいね！

- ☞ 完全個室・・・それぞれ自由な空間としてご利用できます。
- ☞ 交流スペース・・・ご家族様とお祝い事に使うもよし、地域の方と趣味の場に使うもよし。
- ☞ しゃがむ、すわる・・・畳の間、リビング、カウンター
自分にあった生活スタイルでお過ごしいただけます。
- ☞ お風呂は毎日・・・夕方以降に、お一人ずつ入ることができます。

ここにあります！



1泊からのお泊り、日帰りでのご利用、認知症介護について、いつでもご相談下さい

グループホームわが家 ☎ 257-1077

ボランティア・市民活動コーナー

ぬいぐるみづくり講座を開催



タオルで作ったぬいぐるみ“顔晴るわん”(がんばるわん)を作りました！！

飯綱町ボランティア連絡会は8月9日に元気の館でぬいぐるみづくり講座を開催しました。講師に丸田藤子氏(21世紀ボランティア研究センター代表)を迎え、タオルを使った犬のぬいぐるみ“顔晴るわん”を作製しました。受講者は長野県北部地震で被災した、栄村横倉区の仮設住宅に入居中の方々が元気になっていただくようにと技術習得に勤しんでいました。

丸田氏は“顔晴るわん”作りについて「“顔晴るわん”は人と人をつなぐ一つの手段として使って欲しい。丁寧に心を込めて作ることが大切です。作成者一人ひとりがわんこ大使になって被災地へ、子供たちへ、各々の思いを形にしてください。そして、活動の輪を広げていってほしい。」と話されました。

後日、ぬいぐるみづくり講座を受講したボランティアグループのこぶし会(坂上支部)は、自ら作った“顔晴るわん”を、町ボランティア連絡会が毎月開催している栄村被災者との交流会でメッセージと一緒に贈ります。



こぶし会で作った顔晴るわん

平成24年度長野県傾聴ボランティア研修・交流会が開催されました。 …9月4日長野県社会福祉総合センターに県下から260名、飯綱町からも9名参加…

9月4日に長野県社会福祉総合センターを会場に傾聴ボランティア研修・交流会が開催されました。年々認知症高齢者が増し、傾聴ボランティアのニーズが高まってきていることを背景に、長野県が平成18年から22年までに開催した「傾聴ボランティア養成研修」の受講者(全受講者数1700名、内飯綱町38名)の傾聴スキルの振り返りを目的としたものです。今回の研修では、定員200名のところ約260名が参加し、関心の高さが伺えました。講師にホールファミリー協会の鈴木理事長を迎え、認知症高齢者に対する傾聴について、ボランティアとしての関わり方についてお話をされました。鈴木理事長のお話の中で「認知症高齢者の話を否定することなく、100%受け止めて聴くことが原点である。傾聴ボランティアは“感動が報酬”です。認知症高齢者は自分のことをわかってもらいたい。認めてもらいたいという願望を持っている。何とかしてやるなんて思わないでほしい。どんな方でも自分の問題は自分で解決できる能力を持っているので自分の意見を押し付けなくて、寄り添っていただけたら。」と話されました。

参加された方は「今回の研修は認知症高齢者に対する傾聴であったが、日常生活にも通じる話でとても勉強になった。研修に参加できなかった方にも伝えて行けたらと思っている。」と感想を話してくださいました。



研修会の様子

お知らせ・募集！

このコーナーの内容についての問い合わせ・申し込みについては、飯綱町ボランティアセンター
(TEL 253-1001・FAX 253-1002)【担当：吉田】までお願いします



秋の空き缶拾いボランティア参加者募集

活動を通して、環境問題やゴミの分別について学んでみてはいかがでしょうか？

日時： 11月4日(日) 8:00~11:00(終了予定)
※当日、雨天等で中止とする際には午前7時15分頃無線放送でお知らせいたします。

集合場所： 町民会館第2駐車場(テニスコート横)
収集範囲： 町内主要幹線道路沿線(9路線)
分別作業： 町民会館第2駐車場
主催： 飯綱町ボランティア連絡会、飯綱町社会福祉協議会、飯綱町
持ち物： 軍手 ※トング、収集用ビニール袋は主催者で準備します。
参加方法： どなたでも参加できます！
※参加できる方は、直接時間までに集合場所にお越しください。ご家族での参加大歓迎です。

アルミ缶プレスボランティアの募集

内容—アルミ缶を専用の機械でプレスする作業で、どなたにでも出来ます。

時間—※作業日時は相談に応じ調整させていただきます。

条件—どなたでも結構です。お友達同士大歓迎！

場所—さみずの郷駐車場
(※ふれあいの園東側約200m)

いいづな町で暮らす



第3回目は『川北地区』を紹介します。

暑かった夏もすぎ、涼しい風が流れ込む季節となりました。今年もあちらこちらから祭囃子が聞こえ「お祭りっていいな」と改めて感じました。川北地区は多くの若い衆がお祭りや消防などの地区の行事に参加して、地区を盛り上げています。なぜ若い衆が大勢行事に参加するのでしょうか。そんな若い力が集う秘密をひも解いていきましょう。

川北地区では、行事をきっかけに川北ゴルフクラブや釣友会(読み:ちょうゆうかい/釣りサークル)といった、任意のサークルが立ち上がっています。釣友会には15名、川北ゴルフクラブには30名という大勢のメンバーが所属しています。会社でのコミュニケーションが中心で、地域では女性に比べて横のつながりが弱いとされています男性は、自発的にサークルを作ることによって男性同士のネットワークを形成するとともに、地域で自分の居場所を作っています。また、年齢を重ねるごとに孤立しがちな男性ですが、川北地区には豪酒会(ごうしゅかい)というサークルがあります。地域でのつながりを上手に維持していることも「暮らしやすい地域づくり」として若者を引き付ける魅力なのかもしれません。

このようにサークルは、縦や横の交友関係を深めるきっかけになっています。顔を知っていると足を運びやすくなりますね。さらに、昔からの仲間同士、サークルで知り合った仲間同士が「地域のためにやらなければならない」という意識の下、一丸となることで川北地区の行事は盛大に行われているのです。同じ意識を共有するのに、任意のサークルが一役買っているのです。

一人では参加するのをためらってしまうかもしれないことでも、昔からの仲間や行事をきっかけに知り合った仲間と一緒に地区の行事もさらに有意義な時間になるのではないのでしょうか。

いいづな町で暮らす

今回の一言

顔見知りの関係は足を軽くする



安心暮らしのワンポイント テーマは「きのこ」



みなさん、暑い夏も終わり朝夕めっきり涼しくなってきました。

秋と言えば、「食欲の秋！」特に飯綱町は豊かな農作物がいっぱいで楽しみですが・・・

「きのこには注意が必要ですよ！」

毎年、長野県では毒キノコの誤食事故が発生しています。今のうちに対策をチェック！



きのこを探しに山へ行こう！でも・・・



秋の山は1年を通して一番害獣(がいじゅう)被害が多い季節です。

秋の熊は冬眠に備えて食べ物を求めて活発になります。特に近年は熊のエサとなるドングリなどが凶作になることが多く、人間が活動する地域まで熊が出没する危険があります。

熊と出会わないように次の3つに注意し、覚えておきましょう。

- ① 地域の出没情報をチェックして危険な地域には近づかない。
- ② 涼しい朝夕は熊が活動的ですので特に警戒が必要です。小熊や足跡、糞(ふん)を見つけたらすぐに立ち去りましょう。
- ③ 鈴・ラジオ・笛を携帯し、熊に自分の存在を知らせる。



採ったきのこを食べよう！でも・・・



22年度は長野県で5件11人の毒キノコ被害がありました。

毒キノコの誤食事故のほとんどは家庭で起こっています。採ってきたきのこの特徴を完璧に鑑定できる知識が必要です。また、「柄が縦に裂けるきのこは大丈夫」「ナスと一緒に煮込めば大丈夫」などという情報は迷信です。信じてはいけません。

毎年飯綱町でも、持ってきたきのこを鑑定してもらえる「きのこ展示講習会」が飯綱福祉センターで10月上旬～中旬ころに開催されます。

ふるさとの味を安全・安心に楽しみましょう！



赤い羽根 共同募金

10月1日▶12月31日

みんなのきもちが
地域を変える



▲新しく購入した住民貸出用車いす移送車
※お問い合わせ:飯綱町社会福祉協議会

七月三十日に共同募金配分金を受けて、住民貸出用の車いす移送用車両として、軽自動車を購入しました。車いすでの通院や外出等に貸出いたします。皆様の募金が、地域のために役立っています。

わたしにピッタリを探そう!!

いろいろな福祉事業所紹介

NPO法人さみず
さんばだより

さんばの庭に、一本の紐にくるくると巻き付きてっぺんで左右に別れた(どんな状態か想像つきます?)へブンリーブルーが大輪の青い花を見事に咲かせています。これでもうおしまいかと思われた、種から芽を出し、やっと紐に絡みつき遠慮がちに花を咲かせていたへブンリーブルーが町内のある場所の無料の肥やしをもらったとたん『へんしーん(変身)!』したのです。窓の下の方でひっそり咲いていて、ご利用者様方の目には全然止まらなかつた花も、天にも届く勢いで立派になると人気絶頂、「あの花の見えるところに座る!」となりました。職員も口ぐちに「すごいねー。」「きれいだねー。」「見事だねー。」と誉めたたえましたのでこの誉め言葉が耳(へブンリーブルーの?)に入ったのかますます立派に大きくなり、最初に巻き付いた竹棒を転ばすほどでした。「子供と花は誉めて伸ばす!」という言葉どうですか。(??)

この肥やし効果を目の当たりに見た職員は、「おうちの大根にもくれれば、いいなー」と真剣に考えていました。それを聞いて「花は見るだけで食べないからいいけど、大根はなあー。農協の人によく聞いた方がいいんじゃないかなー」と真剣に心配している職員もいます。(でもよく考えれば昔はねー直まき肥えだったしー)

このへブンリーブルーと肥やしについてのご質問がありましたら、さんばまで花を見ながらお出かけください。

□□で〇〇を見ました!

SUNの作業所では、利用者さん達の就職活動をサポートしています。

ハローワークで一緒に仕事を探し、面接を受けて、やっとの思いで就職をして、晴れ晴れとした表情で作業所を去ってってもらえるように、日々支援をしています。その支援を受けながら、「働きたい!」という強い思いが実り、ある工場に就職したAさんを、先日、ふとした所で見かけました。

夕日が美しい時間帯、町内の自動販売機でビール350mlを購入していたAさん。きっと晩酌で飲むビールだろうなあ。仕事が終わってからのビールは美味いだろうなあ。いい生活をしているなあと思いながら、気付かれないようにこっそりと、でもジロジロとながめてしまいました。

契約上、SUNの利用者ではなくなりましたが、いつまでも仲間でありたいと、改めて心に刻んだひとコマでした。

お問い合わせ先 NPO法人SUN 電話:026-253-0133 FAX:026-253-0166

NPO法人SUN
あれこれ。

あおぞらスケッチ

社会福祉法人
林檎の里・あおぞら

● 納涼祭におこしいただき、ありがとうございました！ ●

残暑きびしい9月1日(土)あおぞらにて盛大に納涼祭が開かれました。当日は地域より多くの皆さんにお越しいただきゲーム・屋台など楽しい時間を一緒にさせていただきました。ご来場いただき誠にありがとうございました。



(福)林檎の里は、地域の皆様より愛され、信頼をいただけるよう、地域の皆様との交流を大切に、これからも一歩ずつ着実に歩みを進めてまいりたいと考えます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



「ニキイケアセンターいもいつな」日記

暑かった夏も終わり、いつの間にか10月です。センターの前にある桜の木が紅葉し始めたり、コスモスが咲き、すすきが揺れ、トンボが飛び秋の気配を感じるようになりました。これからいろいろな果物も出回りますね！いい季節がやってきます！

センターの飾りも秋のものに変わりました。夏のにぎやかさと変わり、落ち着いた雰囲気になりました。ご利用者の皆さんの協力により、お月様とウサギとお団子の絵の貼り絵ともみじの葉っぱの絵の貼り絵がかわいらしく出来上がりました。また、ステンドグラス風に作ったもみじも輝いています。

ご近所の方に菊の花をたくさんいただき飾りました。地域の方から譲っていただいた「鈴虫」も元気に鳴いています。(夜勤者はうるさいと・・・)秋の雰囲気いっぱいです。

9/13にはおやつレクレーションとして、さつまいも入りの蒸しパンと抹茶アイスパフェを作り、秋の味覚をおいしくいただきました。暑い夏に落ちた食欲を取り戻し元気に過ごしたいと思います。(食べすぎ注意！)

実りの秋！人としての中身も充実させたいものです。オリンピック・パラリンピックも終わりました。東日本大震災から1年半・ニューヨークのテロから11年。いろいろ学んだり感じた事を人としてのやさしさと強さにして、仕事にも生かしていければより良い介護ができると思います。スタッフ一同頑張ります！！



「おいしくて言葉も出ません?!」

前回まちがいさがしクイズ

☆☆稲架掛け(はぜかけ)まつわるうんちく☆☆

こちらでは稲架(はぜ)と主に言われますが、はさ・はざ・はせかけとも言われます。地域によっては稲掛け(いなかけ)や稲機(いなばた)など様々な呼び名があります。

粳には20%程水分があり、それを16%位まで下げる必要があります。天日干しだと旨みが増し、乾きすぎず、しっとりしたお米が収穫できます。

近年ではコンバインや乾燥機の普及により手間暇がかかる天日干しは減少傾向にあり、天日干しのお米は人気が高くなっています。

第76回 まちがいさがしクイズ解答

答えは「カエル」
「稲刈りをしている人の汗」
「はぜ掛けをしている人の腕」
「トンボの数」
「女性の髪形」

牧野	千里	様
柳原	芳子	様
滝沢	幸子	様
武井	富男	様
目須田	やすえ	様

上記の皆様が当選されました



まちがいさがしクイズ

—第77回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様には素敵な景品をプレゼント!



50 389-1201

飯綱町芋川 181
飯綱町社会福祉協議会
「まちがいさがしクイズ係」

- ・こたえ
- ・じゅうしょ
- ・なまえ
- ・でんわばんごう
- ・今月号の感想など

左右の絵を見比べて5つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領でご記入の上、ご応募ください。締め切りは、10月12日です。【消印有効】

※第76回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

介護を離れひと時のリフレッシュ!! 在宅介護者リフレッシュ事業参加者募集

- 参加対象者 ご自宅で(要介護1以上の)高齢者又は重度心身障害(児)者を介護されている方
- 定員 各コース40名
- 参加費 3,000円程度 **日帰りの小旅行メニュー**全て参加できます!
- ★越後頸城、谷の奥の隠れ里を訪ねる旅
- 期日 平成24年10月9日(火)
- 行き先 上越市くわどり湯ったり村
- ★北アルプスと紅葉。温泉を満喫する旅
- 期日 平成24年11月2日(金)
- 行き先 大町温泉郷 薬師の湯
- ★一足早い春を見つける旅
- 期日 平成25年2月27日(水)
- 行き先 小諸市 布引温泉 こもろ

☆申込先☆

飯綱町社会福祉協議会 TEL 253-8456



皆さんは「合同就職説明会」って知っていますか? 都心のホテルの大広間で、新卒学生採用予定の企業が三畳程度のブースで自社をPRし、そこに来春卒業予定の学生が訪ねてきて就職相談する、双方で話が合えば学生は就職に一步前進、企業も良い人材確保に結びつく、というイベントです。自分も先日、東京で開かれた合同就職説明会に参加、長野県へのUターン就職相談コーナーを担当しました。当然会場内は東京の企業ばかり、そんな中、一人でも多くの学生が長野に来るようにと、自ブース前にたくさんチラシを並べポスターを貼って学生へPRしましたが中々学生が来ません。それもその筈、どの企業もブース前を歩く学生に「ナンパ師」の如く手当たり次第に声を掛け、自社ブースに引き込んでいたからです。「これは負けてられない!」と思い、自分も東京の企業に対抗して学生へ積極的に声掛けをして、四時間で十一人に長野をPRしました。私の隣では長野以外の各県がUターン就職相談コーナーを構えていましたが、静かに閑古鳥が鳴いていました。上京してそのまま東京で就職する学生に向かい「そんなに田舎は嫌か!東京は好いのか!」などと言う人もいるようですが、彼らが何故田舎ではなく東京で就職するのか理由が少し判りました。だって田舎のUターン就職相談コーナー担当者は、目の前を学生が通り過ぎてても声すら掛けないのですから、一方で東京の企業はそんな学生に積極的に声掛けし自社に引き込むのですから、これでは学生がUターン就職する筈などありません。「奥手な田舎」対「積極的な東京」という構図が目についた合同就職説明会でした。

りんごのつぶやき